浜益区民のための情報紙
いま・はま
第10号　令和2年　9月1日
発行　浜益観光まちづくり推進協議会
（事務局）79-5700

浜益情報が詰まったHP「浜益観光まちづくり協議会フェイスブックページ「浜益観光まちづくり」更新中

9/12（土）子ども向け「夜のいきもの観察会」やります

昨年、地域の子どもたちを対象に行った「まちたんけん」の特別版、「夜のいきもの観察会」を行います。自然の中には、夜に活動する様々ないきものがいます。今回は、区民文化祭でシカやクマなどのいきものについて展示していたNPO法人エンビジョンのスタッフさんが同行してくれます。

暗闇でいきものの姿をとらえる赤外線カメラや、コウモリの鳴き声に反応する機器を使って、探検気分で夜の浜益を歩いてみませんか。

昨年のまちたんけんの様子

と　き　9月12日（土）18：30～
ところ　サンセットに集合して出発
対　象　保育園年長さん～小・中学生
（年長さんは保護者の同伴をお願いします）
参加費　２００円
※気温に対応できる服装や長靴、虫対策をおすすめします
※マスクの着用をお願いします
※雨天時は室内で「わくわく！コウモリナイト」を行います

9/13（日）幌灯台の内部をふたたび公開！

昭和61年に建設された幌灯台。令和となった昨年秋に初めて、その内部がお披露目されました。区外からも灯台ファンが集まっていましたが、２時間ほどの公開だったので行けなかったという人も多いのではないでしょうか？

「灯台を地域振興に役立ててほしい」という小樽海上保安部の協力によって、今年も幌灯台が公開されます。

地域に住んでいてもなかなか見ることができない、灯台の内部を見学してみませんか？

と　き　9月13日（日）
10：00～15：00

※密を避けるため1回の入場に制限があります
※マスクの着用をお願いします

10/4（日）新北海道スタイルで「秋の魅力たっぷり旅」開催

昨年はじめて開催し、好評だった「浜益！秋の魅力たっぷり旅」を今年も行います。

こちらは石狩の旅行会社アミーケ・インターナショナル㈱とまち協の共同企画となっています。浜益といえば食の魅力はもちろんのこと、浜益豊漁太鼓など地域の魅力にも触れてもらう旅を考えています。

浜益区内一円を巡る予定ですが、コロナ対策を万全にして行いますので、地域のみなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

まち協はコロナに負けず活動中です！

浜益という地域を楽しんでもらう「フットパス」を始めました

できることから少しずつ

新型コロナウイルスの影響で、今年はいつもと違う夏となりました。

毎年恒例のお祭りや行事が中止・規模縮小となっていて、私たち「まち協」の活動もいろいろと難しさを感じています。

そんな中でも、できることから少しずつ、ということでフットパス事業を開始しました。

第一回目・夏のフットパス

第1回目は7月19日（日）に幌会館～旧群別牧場～幌会館という約9キロのコースを歩きました。

コロナ対策で参加者数は20名に限定し募集をかけました。ところが、嬉しいことに申込みが多く、26名と予定数よりちょっとだけオーバー。近年のフットパス人気がうかがえる状況でした。

活動自体が屋外での事業なので、密にはなりにくいのですが、対策としてマスク着用と適度な距離の保持を心がけてもらいました。

2時間半の道中では、幌地区の通りの名称や方言、幌灯台についてのお話をしたり、旧群別牧場からの眺めを楽しんでもらいました。

第2回目は9月13日（日）に実田地区で行う予定です。

フットパスって何？

フットパス＝英語で「歩く道」を指します。ウォーキングとの違いは、その歩く道自体を楽しむことにあります。季節の植物、そこにしかない歴史や風景、そういったものに注目しつつ歩くのがフットパスの楽しみです。

道内ではすでに札幌市内をはじめ小樽市や南幌町など色々な地域でフットパスイベントが行われているとともに、「フットパス」という言葉が定着しつつあります。

フットパスは（行いたい規模にもよりますが）大掛かりな準備を必要としないため、少人数のスタッフで季節ごとに開催でき、また参加者側も手頃な費用で気軽に参加することができます。

夏には夏の、秋には秋の浜益を楽しんでもらい、お土産はそれぞれ直売所を利用してもらう。持続可能な小規模イベントとして、今年度からスタートしました。

スタッフのつぶやき

皆さんこんにちは。まち協担当1年目の船橋です。

今年はコロナの影響でイベントや各集落のお祭りが縮小や中止となり、寂しい限りです。

まち協もここ最近になって少しずつ活動を再開してきておりますが、3密を避け感染予防を行うという、少人数規模での活動実施が求められております。

まだまだ終息の見えないコロナウイルス。 大人だけでなく子供も我慢している生活、早く今までとおりの生活に戻りたいものです。（船橋秀樹）

浜益ご縁米プロジェクトで
若者世代の孤立防止に協力

5月の話題になりますが、浜益のお米1トンを500人の若者にお届けする、NPO法人ezorockの「浜益ご縁米プロジェクト」に協力しました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、大学生をはじめとする若者世代が孤立してしまわないよう、若者と地域、そして人と人との新たなつながりを創るために立ち上げられたこの企画。

配布後には「いただきますナイト」が開催され、お米を受け取った若者とまち協スタッフをオンラインで結び、一緒に浜益米を食べながら交流しました。これをきっかけに、実際に浜益へ来てくれた人も。

人生これからの若者たちに、浜益を知ってもらえただけでも一歩前進。コロナでも、田舎でも、知恵を絞れば人と繋がれるんだということを教わった夜でした。

【インスタグラム開設しました！「浜益観光まちづくり」で検索してください！】